

I 事業の概要

平成28年8月30日に岩泉を襲った台風10号は、本校学区にも甚大な被害をもたらした。2割をこえる児童の家で床上浸水・土砂流入などの被害を受けた。平成29年度は復興教育スクールの指定を受け、「笑う門には福来る 門のみなさんを笑顔にしよう」を合言葉に、多様な防災・復興教育の取組みを行った。

(1) 事前学習

ア 東日本大震災について、副読本を活用しながらその概要を学習する。

(2) 震災学習列車

(3) 事後学習

ア まとめとして作文を書く。

イ まとめとしてお礼状を書く。

(3) 事後学習

ア まとめとして作文を書いた。

イ まとめとしてお礼状を書いた。



ウ 参加した児童生徒の感想

- ・さんりくてつどうのれっしゃのなかで、きゅうにでんきがきえてびっくりしました。そのあともみがきました。こわかったです。つなみのはなしをきいてびっくりしました。たいへんなことがあったんだなあと思いました。(1年生)
- ・ひがし日本だいしんさいでは、たくさんの人がなくなり、大きなひがいがあったことがわかりました。こんなひがいがもう二度となければいいなあと思いました。(2年生)
- ・小そで海岸で、海女さんのウニ漁を見学しました。あつという間に、ウニをたくさんとっていてすごいなあと思いました。久じの海はとてもきれいでした。ここでも大きなつなみが来たことがしんじられませんでした。(3年生)
- ・最後に、もぐらんびあを見学しました。魚や亀などがたくさんいて楽しかったです。東日本大震災ではもぐらんびあも大変な被害にあったことが分かりました。こうしてもぐらんびあが復活して私たちが楽しむことができるのは、たくさんの方の苦勞があったのだと思います。(4年生)
- ・東日本大震災・台風10号という大きな被害があったことを忘れずに、これからも過ごし

II 取組の概要

(1) 事前学習

ア 東日本大震災について、復興教育副読本を活用しながらその概要を学習した。

(2) 震災学習列車

8:10	学校出発
9:10	岩泉小本駅着
9:20~10:20	震災学習列車
10:20	陸中野田駅着
10:30	小袖海岸着
10:50~11:40	海女さん素潜り漁見学 小袖海女センター見学
12:00	もぐらんびあ着
12:00~12:30	昼食
12:30~14:20	もぐらんびあ見学
16:00	門小学校着



ていきたいです。(5年生)

- ・海女さんの素潜り漁の見学では、海の素晴らしさを知りました。海は怖いだけではなくたくさんのいい所があると知りました。

(5年生)

- ・東日本大震災で亡くなった人がどうすれば命を守れたかをしっかり考えて、これからに生かすことが大切だと思いました。「自分の命は自分で守る」ことができるように、心の備え・物の備えをしっかりとしていきたいです。

(5年生)

- ・岩泉町でも台風10号の被害の復興がまだ終わっていません。これからも地域の人に思いやりを持ち、地域の人が笑顔になるためにできることを考えていきたいです。ボランティア活動にも進んで取り組んでいきたいです。

(6年生)

Ⅲ 取組の成果と課題

(1) 成果

- ・三陸鉄道の列車(震災学習列車)内で東日本大震災についての説明を聞いたり、もぐらんぴあで被災の様子を学んだりしながら、その甚大な被害や三陸鉄道が果たした役割について理解することができた。
- ・被災した地域の視察をすることで、現在の復興の様子を知ることができた。
- ・震災学習列車の学習を通して、岩泉で自分にできることを考えることができた。

(2) 課題

- ・事後学習で、「自分にできること」を考えさせたが、今後は、どのような場面で、誰が、何を行うのか等を自ら考えさせ、企画し、実践させていきたい。また、教師が用意した活動を行っている時もあったので、自分たちで問題意識を持ち、自分たちで調べたり提案したりする段階を目指していきたい。



震災からの復興を体験した全校遠足『震災学習列車&久慈市』
8月28日(火)に実施した今年度の全校遠足は、三陸鉄道北リアス線の列車に乗っての震災学習をメインに、ドラマ「あまちゃん」のロケ地でもあった久慈市周辺の施設の見学を行いました。



まずは、震災学習列車です。岩泉小本駅を出発し、しばらくすると車内が真っ暗に、すると恐ろしい声とともに、『なもみ(沿岸地方の風習、なまはげのようなもの)』が登場！子どもたちとしっかり勉強することや、意地悪をしないこと等を約束しました。

その後、車内で、東日本大震災のときの津波被害や、三陸鉄道復旧までの説明を聞きました。堀内駅では、一時下車して、ドラマの中で主人公が「アイドルになりたーい!!!」と叫んだトンネルに向かって、自分の夢を叫ぶサービスもありました。

陸中野田駅で降りた一行は、バスで小袖海岸へ。曇り空にもかかわらず、3人の「北限の海女」の皆さんが待っていてくださいました。素潜りの実演では、ドラマさながらに、両手いっぱいウニを捕る様子を見学しました。さらに、捕ったウニやコンブ等にさわらせていただく体験もでき、子どもたちは大満足。

最後の見学場所、もぐらんぴあでは、昼食後2つのグループに分かれて館内を回りました。もちろん皆さんの内容の一日でしたが、津波の恐ろしさとともに、避難の仕方、日常の備えの大切さや被災を乗り越えて復興に向けて取り組んでいる沿岸の方々の努力を学ぶ貴重な機会となりました。

